Nishitan Clinic
にしたんクリニック

メトスリム（メトホルミン）に関する同意書

⚜ 効能

肝臓からの糖の放出抑制作用の他、インスリン抵抗性の改善による筋肉・脂肪組織での糖取り込み促進作用、小腸における糖吸収抑制作用といった複数の作用により血糖値を改善させます。

⚜ 主な副作用

主な副作用として、下痢、食欲不振、腹痛、吐き気、嘔吐、腹部膨満感、便秘、消化不良、発疹、かゆみ、全身けん怠感、筋肉痛等があります。頻度は不明ですが、乳酸アシドーシス、低血糖、肝機能障害、黄疸、横紋筋融解症が報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師に相談して下さい。

⚜ 用法・用量

・1日2回/昼食、夕食の食後に1錠を服用して下さい。
・飲み忘れに気が付いた場合は、すぐに服用はせず、次の時間に1回分を服用して下さい。
・2回分を一度に服用されないようにご注意下さい。
・高所作業、自動車の運転等に従事している方は、低血糖症状に注意して下さい。

⚜ 成分

1錠中、「日局」メトホルミン塩酸塩を500mg含有しています。
また添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、クロスポビドン、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、タルク、酸化チタン、黄色三二酸化鉄を含有しています。

⚜ 治療が受けられない方・注意が必要な方 ※下記の病気や症状がある方は治療を受けられません。

・乳酸アシドーシス（胃腸症状、倦怠感、筋肉痛、過呼吸等）の既往歴がある場合
・重度の腎機能障害、肝機能障害、透析患者（腹膜透析を含みます）
・心血管系、肺機能に高度の障害（ショック、心不全、心筋梗塞、肺塞栓等）低酸素血症を伴いやすい状態にある場合
・脱水症がある（下痢、嘔吐等の胃腸障害、経口摂取が困難である場合）
・過度のアルコール摂取者
・重症ケトーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1型糖尿病の患者
・重症感染症、手術前後、重篤な外傷がある場合
・栄養不良状態、飢餓状態、衰弱状態、脳下垂体機能不全又は副腎機能不全がある場合
・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
・本剤の成分又はビグアナイド系薬剤に対し過敏症の既往歴がある場合

⚜ 併用禁忌 ※下記該当する場合は服用できません。

・アルコール（過度の摂取）

裏面に続く

併用注意 ※下記薬剤を使用中の方は服用に注意して下さい。

・ヨード造影剤
・腎毒性の強い抗生物質＜ゲンタマイシン等＞
・利尿作用を有する薬剤＜利尿剤、SGLT2阻害剤等＞
・血糖降下作用を増強する薬剤
＜糖尿病用薬（インスリン製剤、スルホニルウレア剤、速効型インスリン分泌促進薬、α-グルコシダーゼ阻害剤、チアゾリジン系薬剤、DPP-4阻害剤、GLP-1受容体作動薬、SGLT2阻害剤）、たん白同化ホルモン剤、サリチル酸剤（アスピリン等）、β遮断剤（プロプラノロール等）、モノアミン酸化酵素阻害剤＞
・血糖降下作用を減弱する薬剤
＜アドレナリン、副腎皮質ホルモン、甲状腺ホルモン、卵胞ホルモン、利尿剤、ピラジナミド、イソニアジド、ニコチン酸、フェノチアジン系薬剤＞
・シメチジン、ドルテグラビル、ビクテグラビル、バンデタニブ

服用注意 ※下記の病気や症状がある方は服用に注意して下さい。

・不規則な食事摂取、食事摂取量の不足（低血糖をおこすおそれがあります）
・激しい筋肉運動（低血糖をおこすおそれがあります）
・軽度～中等度の腎機能障害（乳酸アシドーシスをおこすおそれがあります）
・軽度～中等度の肝機能障害（乳酸アシドーシスをおこすおそれがあります）
・感染症（乳酸アシドーシスをおこすおそれがあります）
・高齢者（75歳以上の高齢者は1日1,500mgを超える用量の使用経験は限られます）

メトスリム（メトホルミン）に関する同意書

私は、メトスリム（メトホルミン）について作用・副作用および安全性について十分に理解し、
治療を受けることに同意いたします。

年　　月　　日

患者氏名

＊18歳未満の方は保護者の同意書が必要です。　（18歳未満の方のみ）保護者氏名

お預かりした個人情報は「にしたんクリニック」の全ての医院で共有いたします。予めご了承下さい。

Nishitan Clinic にしたんクリニック　医療法人社団直悠会 にしたんクリニック

260116_04